

東京農工大学大学院農学府教育規則の一部改正

現行	改正	改正理由
<p>(趣旨) 第1条 東京農工大学学則(以下「学則」という。)第51条第4項、第65条第2項、第66条第4項及び第72条第3項の規定に基づき、東京農工大学大学院農学府(以下「学府」という。)の教員組織、授業科目及び単位数、教育課程及び履修方法、学位論文の提出時期、審査方法等については、この規則の定めるところによる。</p> <p>第2条 (省略)</p> <p>(修士課程の授業科目等) 第3条 <u>修士課程の専攻ごとの教育研究分野、授業科目及び単位数等は、別表第1のとおりとする。</u> 2 <u>修士課程の学生は、専攻ごとに定められた必修科目、選択必修科目及び選択科目の単位を合わせて30単位以上修得しなければならない。ただし、国際環境農学専攻の学生については、32単位以上修得しなければならない。</u> 3 授業科目の履修方法については、別に定める。</p> <p>第3条の2～第4条 (省略)</p> <p>(他の研究科等の単位の修得) 第5条 学生が、学則第76条及び第76条の2(それぞれ第3項を除く。)の規定により他の大学院において修得した単位がある場合は、10単位を限度(4年制博士課程においては4単位を限度)として、第3条第2項又は第3条の2第2項に規定する選択科目の単位数に算入することができる。ただし、ダブルディグリープログラムにより、他の大学院において修得した単位については、第3条第2項又は第3条の2第2項に規定する必修科目及び選択必修科目の単位数にも算入することができる。</p> <p>2 学生が、他の専攻において修得した単位及び前条第2項の規定により本学の工学府博士前期課程又は生物システム応用科学府博士前期課程において修得した単位がある場合は10単位を限度として、強化科目において修得した単位がある場合は4単位を限度として、第3条第2項に規定する選択科目の単位数に算入することができる。</p> <p>3 (省略)</p> <p>第6条～第7条 (省略)</p> <p>(研究題目の届出) 第7条の2 学生は、指導教員の指導により、研究題目を定めなければならない。 2 前項の規定に基づき研究題目を定めたときは、研究題目及び研究計画を修士課程の学生にあつては別紙様式1により、4年制博士課程の学生にあつては別紙様式2により、所定の期間内に指導教員(4年制博士課程にあつては主指導教員)を経て学府長に届け出るものとする。 3 研究題目を変更するときは、前2項の規定を準用する。</p> <p>第8条～第10条 (省略)</p>	<p>(趣旨) 第1条 東京農工大学学則(以下「学則」という。)第51条第6項、第65条第2項、第66条第4項、<u>第71条第5項及び第72条第3項の規定に基づき</u>、東京農工大学大学院農学府(以下「学府」という。)の教員組織、授業科目及び単位数、教育課程及び履修方法、学位論文の提出時期、審査方法等については、この規則の定めるところによる。</p> <p>第2条 (省略)</p> <p>(修士課程の授業科目等) 第3条 <u>修士課程の授業科目、単位数等は、別表第1のとおりとする。</u> 2 <u>修士課程の学生は、必修科目、選択必修科目及び選択科目の単位を合わせて30単位以上修得しなければならない。</u> 3 授業科目の履修方法については、別に定める。</p> <p>第3条の2～第4条 (省略)</p> <p>(他の研究科等の単位の修得) 第5条 学生が、学則第76条及び第76条の2(それぞれ第3項を除く。)の規定により他の大学院において修得した単位がある場合は、10単位を限度(4年制博士課程においては4単位を限度)として、第3条第2項又は第3条の2第2項に規定する選択科目の単位数に算入することができる。ただし、ダブルディグリープログラムにより、他の大学院において修得した単位については、第3条第2項又は第3条の2第2項に規定する必修科目及び選択必修科目の単位数にも算入することができる。</p> <p>2 学生が、前条第2項の規定により本学の工学府博士前期課程又は生物システム応用科学府博士前期課程において修得した単位がある場合は10単位を限度として、強化科目において修得した単位がある場合は4単位を限度として、第3条第2項に規定する選択科目の単位数に算入することができる。</p> <p>3 <u>前2項に規定する単位認定については、別に定める。</u></p> <p>4 (省略)</p> <p>第6条～第7条 (省略)</p> <p>(研究題目の届出) 第7条の2 学生は、<u>指導教員(第2条第2項に定める「指導教員資格者」に限る。)</u>の指導により、研究題目を定めなければならない。 2 前項の規定に基づき研究題目を定めたときは、研究題目及び研究計画を修士課程の学生にあつては別紙様式1により、4年制博士課程の学生にあつては別紙様式2により、所定の期間内に指導教員(4年制博士課程にあつては主指導教員)を経て学府長に届け出るものとする。 3 研究題目を変更するときは、前2項の規定を準用する。</p> <p>第8条～第10条 (省略)</p>	

応用生命化学専攻

教育研究分野	科目区分	授業科目	単位数		
農学	農学	◇ 応用生命科学特論Ⅰ	1		
		◇ 応用生命科学特論Ⅱ	1		
		◇ 応用生命科学特論Ⅲ	1		
生体分子化学	専門分野科目	○ 生体分子化学特論Ⅰ	2		
		○ 生体分子化学特論Ⅱ	2		
		☆ 生体分子化学特論Ⅲ	1		
		☆ 生体分子化学特論Ⅳ	1		
	論文研究等	◎ 生体分子化学特別演習Ⅰ	2		
		◎ 生体分子化学特別演習Ⅱ	2		
		◎ 生体分子化学特別研究Ⅰ	4		
		◎ 生体分子化学特別研究Ⅱ	4		
		生理生化学	専門分野科目	○ 生理生化学特論Ⅰ	2
				○ 生理生化学特論Ⅱ	2
☆ 生理生化学特論Ⅲ	1				
☆ 生理生化学特論Ⅳ	1				
論文研究等	◎ 生理生化学特別演習Ⅰ		2		
	◎ 生理生化学特別演習Ⅱ		2		
	◎ 生理生化学特別研究Ⅰ		4		
	◎ 生理生化学特別研究Ⅱ		4		
	分子生物学		専門分野科目	○ 分子生物学特論Ⅰ	2
				○ 分子生物学特論Ⅱ	2
☆ 分子生物学特論Ⅲ		1			
☆ 分子生物学特論Ⅳ		1			
論文研究等		◎ 分子生物学特別演習Ⅰ	2		
		◎ 分子生物学特別演習Ⅱ	2		
		◎ 分子生物学特別研究Ⅰ	4		
		◎ 分子生物学特別研究Ⅱ	4		
		環境老年学(連携分野)	専門分野科目	○ 環境老年学特論Ⅰ	2
				○ 環境老年学特論Ⅱ	2
☆ 環境老年学特論Ⅲ	1				
☆ 環境老年学特論Ⅳ	1				
論文研究等	◎ 環境老年学特別演習Ⅰ		2		
	◎ 環境老年学特別演習Ⅱ		2		
	◎ 環境老年学特別研究Ⅰ		4		
	◎ 環境老年学特別研究Ⅱ		4		

- 備考
- | 必修科目 | 選択必修科目 | 選択科目 | 修了単位 |
|------|--------|-------|--------|
| 19単位 | 4単位以上 | 7単位以上 | 30単位以上 |
- 所属する教育研究分野の◎印及び○印の必修科目を16単位修得すること。
 - ◇印の必修科目を3単位修得すること。
 - 選択必修科目として、所属以外の教育研究分野○印の科目から4単位以上修得すること。なお、4単位を超えた選択必修科目は選択科目に算入される。
 - ☆印の科目は選択科目とする。
 - 農学府の他専攻科目は、4単位を限度として選択科目の単位数に算入することができる。強化科目、工学府又は生物システム応用科学府、他の大学院科目は修了要件に算入しない。
 - 農学府共通科目は選択科目とする。

生物制御科学専攻

教育研究分野	科目区分	授業科目	単位数
生物機能制御学・生物適応制御学	専攻共通科目	◇ 生物制御科学特論Ⅰ	1
		◇ 生物制御科学特論Ⅱ	1
		◇ 生物制御科学特論Ⅲ	1
		◇ 生物制御科学特論Ⅳ	1
		◇ 生物制御科学特論Ⅴ	1
		◇ 生物制御科学特論Ⅵ	1
		◇ 英語プレゼンテーション演習	1
	専門分野科目	○ 植物生理学特論	2
		○ 植物原生学特論	2
		○ 生物制御化学特論	2
		○ 生理活性天然物化学特論	2
		○ 細胞分子生物学特論	2
		○ 植物生理学特論	2
		○ 薬生生物学特論	2
		○ 応用昆虫学特論	2
		○ 昆虫生理化学特論	2
		○ 天敵微生物学特論	2
		○ 生物的制御学特論	2
		○ 創薬化学特論	2
		論文研究等	◎ 生物制御科学特別実験Ⅰ
	◎ 生物制御科学特別実験Ⅱ		2
	◎ 生物制御科学特別実験Ⅲ		2
	◎ 生物制御科学特別実験Ⅳ		2
	◎ 生物制御科学論文演習Ⅰ		1
	◎ 生物制御科学論文演習Ⅱ		1
	◎ 生物制御科学論文演習Ⅲ		1

- 備考
- | 必修科目 | 選択必修科目 | 選択科目 | 修了単位 |
|------|--------|-------|--------|
| 12単位 | 14単位以上 | 4単位以上 | 30単位以上 |
- ◎印の必修科目を12単位修得すること。
 - ◇印の選択必修科目から4単位以上修得すること。
 - 印の選択必修科目から10単位以上修得すること。
 - 14単位を超えた選択必修科目は選択科目に算入される。
 - 指導教員と相談した上で強化科目、農学府の他専攻、工学府、生物システム応用科学府、他の大学院科目について、併せて4単位を限度として選択科目の単位数に算入することができる。
 - 農学府共通科目は選択科目とする。

環境資源物質科学専攻

教育研究分野	科目区分	授業科目	単位数	
専攻共通科目	○	環境資源物質科学特別講義Ⅰ	2	
	○	環境資源物質科学特別講義Ⅱ	2	
	○	環境資源物質科学特別講義Ⅲ	2	
	○	環境資源物質科学特論	2	
	○	環境資源物質科学コミュニケーション特論	2	
環境資源材料科学	専門分野科目	○	環境資源計測学特論	2
		○	生物物理化学特論	2
		○	分子ダイナミクス学特論	2
		○	植物材料物性学特論	2
		○	住環境材料加工学特論	2
	論文研究等	◎	環境資源材料科学特別実験Ⅰ	4
		◎	環境資源材料科学特別実験Ⅱ	4
		◎	環境資源材料科学研究報告演習Ⅰ	2
		◎	環境資源材料科学研究報告演習Ⅱ	2
		◎	環境資源材料科学研究報告演習Ⅲ	2
資源機能制御学	専門分野科目	○	資源複合機能学特論	2
		○	植物繊維化学特論	2
		○	バイオマス構造機能学特論	2
		○	生分解制御学特論	2
		○	植物資源形成学特論	2
	論文研究等	◎	資源機能制御学特別実験Ⅰ	4
		◎	資源機能制御学特別実験Ⅱ	4
		◎	資源機能制御学研究報告演習Ⅰ	2
		◎	資源機能制御学研究報告演習Ⅱ	2
		◎	資源機能制御学研究報告演習Ⅲ	2

必修科目	選択必修科目	選択科目	修了単位
12単位	6単位以上	12単位以上	30単位以上

- 備考
- 所屬する教育研究分野の◎印の必修科目を12単位修得すること。
 - 印の選択必修科目から4単位以上修得すること。
 - 所屬する教育研究分野の○印の選択必修科目から2単位以上修得すること。
 - 6単位を超えた選択必修科目は選択科目に算入される。
 - 所屬する教育研究分野以外の教育研究分野の○印科目又は、農学府の他専攻科目の中から選択科目として、2単位以上を修得すること。
 - 指導教員と相談した上で、強化科目は4単位を上限として、農学府の他専攻、工学府、生物システム応用科学府、他の大学院科目については、併せて4単位を限度として選択科目の単位数に算入することができる。
 - 農学府共通科目は選択科目とする。

物質循環環境科学専攻

教育研究分野	科目区分	授業科目	単位数	
専攻共通科目	○	環境生物学特論	2	
	○	環境化学特論	2	
	○	国際研究プレゼンテーションⅠ	1	
	○	国際研究プレゼンテーションⅡ	1	
環境生物学	専門分野科目	○	大気環境学特論	2
		○	環境微生物学特論	2
		○	環境植物学特論	2
		○	環境汚染生物学特論	2
		○	海洋環境生物学特論	2
		○	環境生物学特別講義Ⅰ	0.5
		○	環境生物学特別講義Ⅱ	0.5
		○	環境生物学特別講義Ⅲ	0.5
	論文研究等	◎	環境生物学特別実験Ⅰ	4
		◎	環境生物学特別実験Ⅱ	4
		◎	環境生物学研究報告演習Ⅰ	1
		◎	環境生物学研究報告演習Ⅱ	1
		◎	環境生物学英語論文講義演習Ⅰ	1
		◎	環境生物学英語論文講義演習Ⅱ	1
環境化学	専門分野科目	○	生物圏物質循環学特論	2
		○	有機地球化学特論	2
		○	社会・生物地球化学特論	2
		○	地球環境化学特論	2
		○	環境毒性学特論	2
		○	環境化学特別講義Ⅰ	0.5
		○	環境化学特別講義Ⅱ	0.5
		○	環境化学特別講義Ⅲ	0.5
	論文研究等	◎	環境化学特別実験Ⅰ	4
		◎	環境化学特別実験Ⅱ	4
		◎	環境化学研究報告演習Ⅰ	1
		◎	環境化学研究報告演習Ⅱ	1
		◎	環境化学英語論文講義演習Ⅰ	1
		◎	環境化学英語論文講義演習Ⅱ	1

必修科目	選択必修科目	選択科目	修了単位
12単位	11単位以上	7単位以上	30単位以上

- 備考
- 所屬する教育研究分野の◎印の必修科目を12単位修得すること。
 - 印の選択必修科目から5単位以上修得すること。
 - 所屬する教育研究分野の○印の選択必修科目から6単位以上修得すること。
 - 11単位を超えた選択必修科目は選択科目に算入される。
 - 所屬する教育研究分野以外の教育研究分野の○印科目又は、農学府の他専攻科目の中から選択科目として、3単位以上を修得すること。
 - 指導教員と相談した上で、強化科目は4単位を上限として、農学府の他専攻、工学府、生物システム応用科学府、他の大学院科目については、併せて4単位を限度として選択科目の単位数に算入することができる。
 - 農学府共通科目は選択科目とする。

自然環境保全学専攻

教育研究分野	科目区分	授業科目	単位数	
専攻共通科目	◎	自然環境保全学Ⅰ	2	
	◎	自然環境保全学Ⅱ	1	
	☆	自然環境保全学特別講義Ⅰ	0.5	
	☆	自然環境保全学特別講義Ⅱ	0.5	
	☆	自然環境保全学特別講義Ⅲ	0.5	
		インターンシップ	1	
生態系保全学・森林環境保全学		基礎統計学	2	
	○	植生管理学特論Ⅰ	1	
	○	植生管理学特論Ⅱ	1	
	○	生物多様性保全学特論Ⅰ	1	
	○	生物多様性保全学特論Ⅱ	1	
	○	野生動物保全生態学特論Ⅰ	1	
	○	野生動物保全生態学特論Ⅱ	1	
	○	野生動物保全政策学特論Ⅰ	1	
	○	野生動物保全政策学特論Ⅱ	1	
	○	野生動物保護学Ⅰ	1	
	○	野生動物保護学Ⅱ	1	
	○	健康アミニティ科学特論Ⅰ	1	
	○	健康アミニティ科学特論Ⅱ	1	
	○	人間生理生態学特論Ⅰ	1	
	○	人間生理生態学特論Ⅱ	1	
	○	森林計画学特論Ⅰ	1	
	○	森林計画学特論Ⅱ	1	
	○	森林生態学特論Ⅰ	1	
	○	森林生態学特論Ⅱ	1	
	○	山地保全学特論Ⅰ	1	
	○	山地保全学特論Ⅱ	1	
	○	森林水文学特論Ⅰ	1	
	○	森林水文学特論Ⅱ	1	
	○	森林施設工学特論Ⅰ	1	
	○	森林施設工学特論Ⅱ	1	
	○	景観生態学特論Ⅰ	1	
	○	景観生態学特論Ⅱ	1	
	○	森林土壌学特論Ⅰ	1	
	○	森林土壌学特論Ⅱ	1	
	○	森林利用システム学特論Ⅰ	1	
	○	森林利用システム学特論Ⅱ	1	
	○	森林-人間系科学Ⅰ	1	
	○	森林-人間系科学Ⅱ	1	
	○	森林保護学特論Ⅰ	1	
	○	森林保護学特論Ⅱ	1	
	○	保全遺伝生態学特論	2	
	論文研究等	◎	自然環境科学特別研究	4
		◎	自然環境保全学特別研究	4
		◎	自然環境科学特別演習	1
		◎	自然環境保全学特別演習	1
		◎	自然環境科学外語論文講義演習	1

備考	必修科目	選択必修科目	選択科目	修了単位
—	15単位	11単位以上	4単位以上	30単位以上

- ◎印の必修科目を15単位修得すること。
- ☆印の選択必修科目から11単位以上修得すること。
- 印の選択必修科目から10単位以上修得すること。
- 11単位を超えた選択必修科目は選択科目に算入される。
- 無印の科目は選択科目とする。
- 指導教員と相談した上で、強化科目は4単位を上限として、農学部の他専攻、工学部、生物システム応用科学部、他の大学部科目については、併せて4単位を限度として選択科目の単位数に算入することができる。
- 農学部共通科目は選択科目とする。

農業環境工学専攻

教育研究分野	科目区分	授業科目	単位数	
専攻共通科目	基礎科目	◎	空間情報科学特論	1
		◎	計測工学特論	1
		◎	実験計画法特論	1
		◎	線形代数学特論	1
		◎	数値解析学特論	1
		◎	ダイナミクス特論	1
		◎	地球統計学特論	1
		◎	環境工学特論	1
		◎	農業・農村政策学特論	1
		◎	水環境保全学特論	1
	応用科目	◎	農業環境工学特別講義Ⅰ	1
		◎	農業環境工学特別講義Ⅱ	1
		◎	農業環境工学特別講義Ⅲ	1
		◎	農業環境工学特論Ⅰ	1
		◎	農業環境工学特論Ⅱ	1
		◎	農業環境工学特論Ⅲ	1
		◎	農業環境工学特論Ⅳ	2
		◎	農業環境工学特論Ⅴ	2
		◎	農業環境工学特論Ⅵ	2
		◎	農業環境工学特論Ⅶ	1
地域環境工学・生物生産工学	専門分野科目	○	力オス農学特論	1
		○	自然エネルギー利用学特論	1
		○	施設工学特論	1
		○	システム工学特論	1
	論文研究等	◎	農業環境工学特別演習Ⅰ	2
		◎	農業環境工学特別演習Ⅱ	2
		◎	農業環境工学特別演習Ⅲ	2
		◎	農業環境工学特別演習Ⅳ	2

備考	必修科目	選択必修科目	選択科目	修了単位
—	12単位	14単位以上	4単位以上	30単位以上

- ◎印の必修科目12単位を修得すること。
- 印の選択必修科目から8単位以上修得すること。
- 印の選択必修科目から8単位以上修得すること。
- 14単位を超えた選択必修科目は選択科目に算入される。
- 共通科目の無印は選択科目とする。その他、農学部の他専攻科目については、4単位を限度として選択科目の単位数に算入することができる。
- 農学部共通科目は選択科目とする。

国際環境農学専攻		授業科目			
専攻 研究 分科 専攻	科目 区分	(英文名)			
国際環境農学専攻	専攻 共通 科目	○	地域社会開発論	General Aspect for Regional Development	
		○	国際農業技術論	International Cooperative Agricultural Technology	
		○	地球環境論	Global Environment	
		○	異文化コミュニケーション学	Intercultural Communication	
		○	国際環境農学特論Ⅰ	Advanced Lecture on International Environmental and Agricultural Science I	
	○	国際環境農学特論Ⅱ	Advanced Lecture on International Environmental and Agricultural Science II		
	国際環境 修復 学	専門 分野 科目	○	地域環境計画学	Regional Environmental Conservation Planning
			○	環境回復保全学	Environmental Rehabilitation and Conservation
			○	水環境保全学	Environmental Water Use & Conservation
			○	水環境評価学	Aquatic Environmental Assessment
論文 研究 科目		◎	国際環境農学コミュニケーション演習	Communication Exercise for International Environmental and Agricultural Research	
		◎	国際環境修復保全学特別演習	Research in International Environmental Rehabilitation and Conservation	
		◎	国際環境修復保全学実習	Exercise for International Environmental Rehabilitation and Conservation	
		◎	国際環境農学理解演習	Subjective Exercise for International Environmental and Agricultural Research	
		◎	国際環境農学国内実習	Practical Exercise for International Environmental and Agricultural Research	
		◎	国際環境修復保全学特論	Advanced Lecture for International Environmental Rehabilitation and Conservation	
国際生物 生産 資源学	専門 分野 科目	○	地域生物生産利用学	Utilization of Regional Biological Functions	
		○	地域持続的生物生産技術学	Regional Sustainable Bio-Production Technology	
		○	生物資源循環利用学	Sustainable Utilization of Biological Resources	
		○	生物機能創成学	Improvement of Biological Functions	
	論文 研究 科目	◎	国際環境農学コミュニケーション演習	Communication Exercise for International Environmental and Agricultural Research	
		◎	国際生物生産資源学特別研究	Research in International Biological Production and Resource Science	
		◎	国際生物生産資源学実習	Exercise for International Biological Production and Resource Science	
		◎	国際環境農学理解演習	Subjective Exercise for International Environmental and Agricultural Research	
		◎	国際環境農学国内実習	Practical Exercise for International Environmental and Agricultural Research	
		◎	国際生物生産資源学特論	Advanced Lecture for International Biological Production and Resource Science	
国際地域 開発学	専門 分野 科目	○	途上地域人口社会学	Population Sociology	
		○	国際農業協力論	International Cooperation on Sustainable Agriculture	
		○	国際地域開発政策論	International Rural Development Policy	
		○	国際開発協力論	International Development and Cooperation	
	論文 研究 科目	◎	国際環境農学コミュニケーション演習	Communication Exercise for International Environmental and Agricultural Research	
		◎	国際地域開発学特別研究	Research in International Development on Rural Areas	
		◎	国際地域開発学実習	Exercise for International Development on Rural Areas	
		◎	国際環境農学理解演習	Subjective Exercise for International Environmental and Agricultural Research	
		◎	国際環境農学国内実習	Practical Exercise for International Environmental and Agricultural Research	
		◎	国際地域開発学特論	Advanced Lecture for International Development on Rural Areas	
Double Degree Courses	Social Field Studies	○	Regional Environmental Conservation Planning	Regional Environmental Conservation Planning	
		○	Environmental Rehabilitation and Conservation	Environmental Rehabilitation and Conservation	
		○	Environmental Water Use & Conservation	Environmental Water Use & Conservation	
		○	Aquatic Environmental Assessment	Aquatic Environmental Assessment	
		○	Utilization of Regional Biological Functions	Utilization of Regional Biological Functions	
		○	Regional Sustainable Bio-Production Technology	Regional Sustainable Bio-Production Technology	
		○	Sustainable Utilization of Biological Resources	Sustainable Utilization of Biological Resources	
		○	Improvement of Biological Functions	Improvement of Biological Functions	
		○	Population Sociology	Population Sociology	
		○	International Cooperation on Sustainable Agriculture	International Cooperation on Sustainable Agriculture	
	Research Subjects for Thesis	◎	International Rural Development Policy	International Rural Development Policy	
		◎	International Development and Cooperation	International Development and Cooperation	
		◎	Social Lecture for Agricultural DDP I ()	Social Lecture for Agricultural DDP I ()	
		◎	Social Lecture for Agricultural DDP II ()	Social Lecture for Agricultural DDP II ()	
		◎	Social Lecture for Agricultural DDP III ()	Social Lecture for Agricultural DDP III ()	
		◎	Communication Exercise for International Environmental and Agricultural Research	Communication Exercise for International Environmental and Agricultural Research	
		◎	Research in International Environmental and Agricultural Science	Research in International Environmental and Agricultural Science	
		◎	Exercise for International Environmental and Agricultural Science	Exercise for International Environmental and Agricultural Science	
		◎	Subjective Exercise for International Environmental and Agricultural Research	Subjective Exercise for International Environmental and Agricultural Research	
		◎	Practical Exercise for International Environmental and Agricultural Research	Practical Exercise for International Environmental and Agricultural Research	
Subcourse Lectures	◎	Advanced Practice on International Environmental and Agricultural Science I	Advanced Practice on International Environmental and Agricultural Science I		
	◎	Advanced Practice on International Environmental and Agricultural Science II	Advanced Practice on International Environmental and Agricultural Science II		
日本語 科目	◎	Advanced Practice on International Environmental and Agricultural Science III	Advanced Practice on International Environmental and Agricultural Science III		
	◎	Advanced Practice on International Environmental and Agricultural Science IV	Advanced Practice on International Environmental and Agricultural Science IV		
	◎	Advanced Practice on International Environmental and Agricultural Science V	Advanced Practice on International Environmental and Agricultural Science V		
	◎	Research in International Environmental and Agricultural Science	Research in International Environmental and Agricultural Science		
	◎	Exercise for International Environmental and Agricultural Science	Exercise for International Environmental and Agricultural Science		
◎	日本語コミュニケーションⅠ	Japanese Communication I			
◎	日本語コミュニケーションⅡ	Japanese Communication II			

履修	必修科目 18単位	選択必修科目 12単位以上	選択科目 2単位以上	終了単位 32単位以上
----	--------------	------------------	---------------	----------------

- (1) 所属する教育研究分野以外に、農学府の他専攻の教育研究分野の中から1分野を副専攻として選択しなければならない。
- (2) 所属する教育研究分野の必須の必修科目を14単位以上履修すること。
- (3) 専攻の必須の必修科目。
- (4) 専攻の必須の必修科目。
- (5) 専攻の必須の必修科目。
- (6) 所属する教育研究分野以外に、農学府の他専攻の教育研究分野の必須科目又は、農学府の他専攻の専攻科目として、2単位以上を履修すること。
- (7) 農学府共通科目は選択科目とする。
- (8) 兼修：日本語科目は、留学生対象科目であり、終了要件に算入しない。

東京農工大学・岩手大学共同獣医学専攻
別表第2 (第3条の2関係)
(省略)

東京農工大学・岩手大学共同獣医学専攻
別表第2 (第3条の2関係)
(省略)

別紙様式1 (修士課程) 平成 年 月 日

東京農工大学大学院
農学府長 殿

平成 年度入学
修士課程 専攻
学籍番号
氏 名

研究 題目 届

研究 題目	
研究 計画	
指導 教員 名	主指導教員※1 ◎
	第1副指導教員※2 ◎
	第2副指導教員※2 ◎
備 考	

※1 主指導教員：学生の研究指導に当たる資格を有する教員とする
※2 副指導教員：学生の研究指導に当たる資格を有する教員又は研究指導補助に当たる資格を有する教員とする

別紙様式1 (修士課程) 年 月 日

東京農工大学大学院
農学府長 殿

年度入学
修士課程 農学専攻 コース プログラム
学籍番号
氏 名

研究 題目 届

研究 題目	
研究 計画	
指導 教員	◎
備 考	

※ 指導教員：学生の研究指導に当たる資格を有する教員とする

別紙様式2 (4年制博士課程) 平成 年 月 日

東京農工大学大学院
農学府長 殿

平成 年度入学
4年制博士課程 専攻 講座
学籍番号
氏 名

研究 題目 届

研究 題目	
研究 計画	
指導 教員 名	主指導教員※1 ◎
	第1副指導教員※2 ◎
	第2副指導教員※3 ◎
備 考	

※1 主指導教員：学生の研究指導に当たる資格を有する自大学の教員とする
※2 第一副指導教員：主指導教員とともに、学生の研究指導に当たる資格を有する自大学の教員とする
※3 第二副指導教員：主指導教員とともに、学生の研究指導に当たる資格を有する相手大学の教員とする
(なお、副指導教員の所属講座は主指導教員と同じ講座でなくとも可とする)

別紙様式2 (4年制博士課程) 年 月 日

東京農工大学大学院
農学府長 殿

年度入学
4年制博士課程 専攻 講座
学籍番号
氏 名

研究 題目 届

研究 題目	
研究 計画	
指導 教員 名	主指導教員※1 ◎
	第1副指導教員※2 ◎
	第2副指導教員※3 ◎
備 考	

※1 主指導教員：学生の研究指導に当たる資格を有する自大学の教員とする
※2 第一副指導教員：主指導教員とともに、学生の研究指導に当たる資格を有する自大学の教員とする
※3 第二副指導教員：主指導教員とともに、学生の研究指導に当たる資格を有する相手大学の教員とする
(なお、副指導教員の所属講座は主指導教員と同じ講座でなくとも可とする)

附 則 (平成31年4月1日農規則第2号)

- 1 この規則は、平成31年4月1日から施行する。
- 2 平成31年3月31日現在在学している者の授業科目の名称及び単位数並びに必修又は選択の別、教育課程については、改正後の規定にかかわらず、なお従前の例による。